

### ミュージカル「マイ・フェア・レディ」

1956年3月、ニューヨークで初演されたミュージカル「マイ・フェア・レディ」は、以来2717回も上演された。(1964年には映画化もされた) 貧しい花売り娘イライザが、ヒギンス教授によって、貴婦人に育てられる物語です。なぜ、貧しい花売り娘が貴婦人に変身したのか…ヒギンス教授が、彼女をレディとして扱ってくれるので、彼女も教授の「期待に応えよう」と努力したのです。

このミュージカルの原典が、「ピグマリオン」なのです。ピグマリオンとは、ギリシャ神話のキプロスの王名です。ピグマリオンは、象牙で作った女性像に恋をしまい、愛と恋愛の神様をお願いして、その女性像に生命を与えてもらう。そして、生きた人間となった女性とめでたく結ばれた。「人間は期待されると成長する」という教訓が、「マイ・フェア・レディ」となって、蘇ったのです。

### 「Be gentleman」

明治初め、札幌農学校に、アメリカからウィリアム・スミス・クラーク氏(1826~1886年)が赴任した。クラーク教授は、物質的な発展や近代化もさることながら、あくまでも国づくりの根幹となるのは人間なのだから、精神的な成長こそが何よりも大切と、道徳教育と人格の陶冶に力を注ごうとした。

当時の日本の学校は、細かな規則を設けて、生徒の一挙手一投足を縛ろうとするのが一般的だった。クラーク教授は、このような他律的な教育観ではなく、自律的な教育観を重視した。他から強制されたから正しい行動をするようでは、真の独立した人格者ではない。自分の良心に従い、自発的に責任ある行動を取るようであれば近代人とは言えない。クラーク教授は、生徒連の良心を信じ、札幌農学校の生徒には、そのよう

な人間になって欲しいという期待を抱き、今までの校則を一切廃止した。

そして、ただ一言「Be gentleman」とだけ述べた。この言葉が生徒を感動させた。生徒も、彼らに全幅の信頼を寄せるクラーク教授に応えようと決心した。「私たちは、ジェントルマンとして、天地に恥じない行いをしなければならない」と、自らの行動を律していった。後に視察に訪れた政府高官は、あまりにも礼儀正しく、真面目な学生に接して感動した。

### 「思うように動いてくれない」と思い込んでいないか

経営者や幹部社員の悩みの一つは、「指示待ち社員」「言わなければ動かない社員」の存在だそうです。命令、指示さえすれば、人は動くものではありません。社員を「道具・手段」とみて、「使いこなそう」としても、社員は期待通りに動くものではありません。たとえ、動いたとしても、いわゆる「面従腹背」という心理状態だろうと思います。

やはり、「人を信じる」「人を大切にする」「人を活かす」という人間観を持たなければならない。

「君 臣を用いるに礼を以てし、臣 君に仕えるに忠を以てす」(論語)

「大いに為すにあらんとする者は、必ず、召さざるところの臣あり」(孟子)

松下幸之助氏は、「経営者は強い要望者でなければならない」、そして同時に「拜むような気持ちで・人を使わなければならない」と述べておられます。

経営者の心に共鳴すれば、社員はその意を体して、思う通りに活躍するものです。社員の姿は、経営者の鏡です。社員を思いやり、また社員からも思いやられるような信頼関係を築きたいものです。

「人の上に立つということは、人を信用すること」と言えるのではないのでしょうか。



テクノ経営総合研究所 TECコンサルタント

上田 勝 うえだ まさる

松下電器出身、営業本部および本社経営監査部等を経て、松下流通研究所、販売研究所 取締役所長を歴任

NPO兵庫経営塾 副理事長

著書『すべての仕事に商いの心を』(碧天社)「マーケティング理論の基本は商家の家訓の中にある」「部下の心をつかむ正しいリーダーシップのあり方」(『ダイヤモンド・セールスマネジャー』に連載)